



しゃしん絵本

小さな生きものの

春 夏 秋 冬

7

千ヨウ

写真 新開 孝

文・構成 池田菜津美

ポプラ社



すっかり さむくなった 冬の 公園で
茶色い さなぎを 見つけた。
つめたい 風が ふいても
雪が つもっても じっとしていたよ。



冬になる直前に さなぎになったものは、さなぎのまま 冬を こします。さなぎの色には みどり色や 茶色があります。

はる
春

ぽかぽか ようきの 春の 公園で
黄色い さなぎを 見つけた。
しばらく かんさつしていると……



冬の さなぎに へんかが あられるのは 4
月のおわりごろ。色が うすく なる、5分
ほど かけて、中から おとなの アゲハチョ
ウが 出てきました。

うつくしい
アゲハチョウになった。



30分ほどかけてちぢんでいたはねをのばすと、りっぱなはねのアゲハチョウになりました。



これからは 色とりどりの 花が さく きせつ。

花から 花へ

チョウが とびかう きせつが やってくる。

さなぎで 冬を こした アゲハチョウは、体
が 少し 小さめ。あたたかい 春の 日ざしの
なか、みつを もとめて 花から 花へと とび
まわります。たくさん みつを 食べて、たま
ごを うむ じゅんぴを しているのです。

チョウの体とくらし

からだ
体



6 ページ

チョウは体の左右に前ばねと後ろばねを1まいずつ、ぜんぶで4まいのはねをもっています。むねやはらは細長くて、かたいからでおおわれています。4まいのはねをふくめても、体はともかるといっしょになっています。

かお
顔



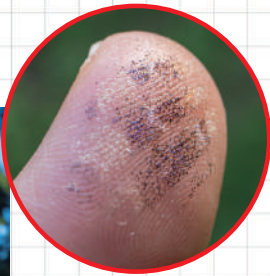
5 ページ

チョウの顔をじっくり見てみましょう。とても小さな顔に、大きな目が2つあり、目をかこむように、毛がたくさんはえています。細長いストローのような口と、長いしよっかがあります。



9 ページ

▲はねは「りんぶん」という、こなでおおわれている。りんぶんは水をはじくので、雨ではねがぬれない。とぶときにもやくだつといわれていて、りんぶんがぜんぶとれてしまうと、チョウはとべなくなってしまう。

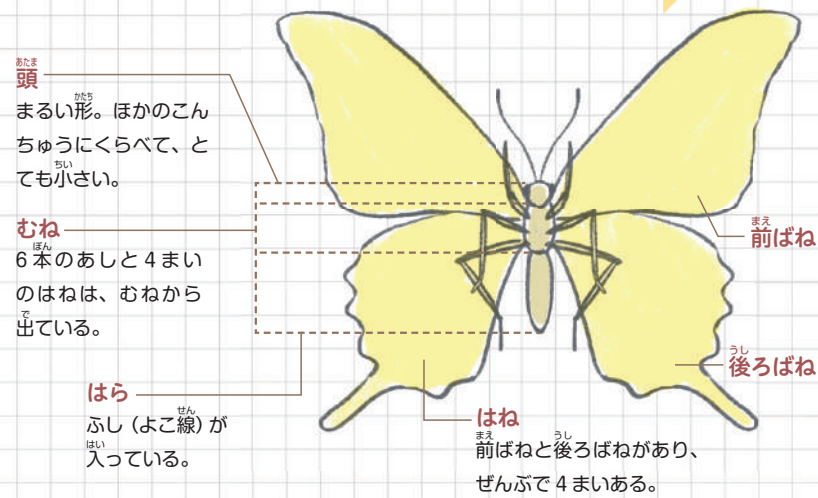


▲ゆびについたりりんぶん。1まい(1つぶ)ずつ色がちがって、きらきらしている。

▶りんぶんをかくだいて見たところ。花びらのような形をしている。



アゲハチョウをうらから見たところ



頭

まるい形。ほかのこんちゅうにくらべて、とても小さい。

むね

6本のあしと4まいのはねは、むねから出ている。

はら

ふし(よご線)が入っている。

はね

前ばねと後ろばねがあり、ぜんぶで4まいある。



◀細長いストローのような口(やじるし)は、みつをすうときいがいは、くるとまいている。

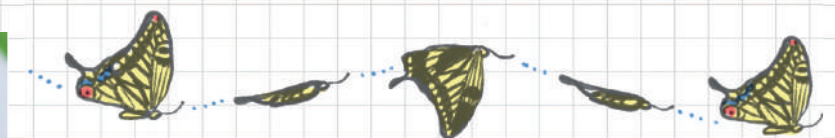
▼じめんの水をすってのむこともある。



とぶ



4 ページ



▲チョウのとびかた。はねを下げると体がうきあがり、はねを上げると体がしずむ。これをくりかえすと、上のようなとびかたになる。



▲とぶときは、あしをたたんで、できるだけ空気のていこうを受けないようにする。

チョウは、テントウムシのようにまっすぐとんだり、トンボのようにはやくとんだりせず、ふわふわととびます。そのりゆうは、大きなはねにあります。大きなはねを上下にごかすと、うちわであおいだようになり、体が上下にふわふわとうごくのです。

ようちゅうの体



15 ページ

チョウのようちゅうはイモムシともよばれます。まだ大きなはねはありません。チョウのメスは、ようちゅうが食べるしょくぶつにたまごをうみます。ようちゅうは、そこでたくさんしょくぶつを食べて大きくなります。



▲アゲハチョウのようちゅうは、おこったり、びっくりしたりすると、頭から小さい角(肉角)を出す。ときは小さい角をいやがっておそうのをやめるという。



◀ようちゅうは、かわをぬいで(だっぴして)大きくなる。



体のかわ

頭のかわ

アゲハチョウのようちゅうのせいちゅう

◀アゲハチョウのようちゅうの体には、ふしぎなもちがある。このもちを見せつけて、ようちゅうを食べようとするときをびっくりさせると考えられている。

アゲハチョウのようちゅうは、かわを4回ぬいで大きくなる。



2 れいのようちゅう
1回かわをぬいだようちゅう。
1センチメートルくらい。



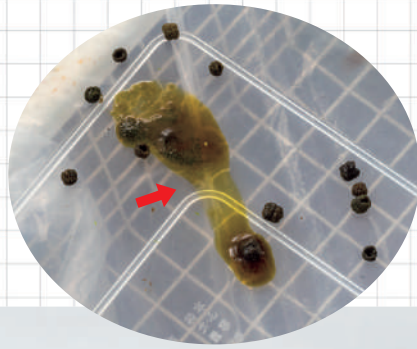
5 れいのようちゅう
4回かわをぬいだようちゅう。5センチメートルくらい。



じっくりかんさつしよう!

ようちゆう

▶ようちゆうのふん。べちゃっとした、げりのようなふん(やじるし)をしたら、さなぎになる合図。ふんが2日くらいでさなぎになる。



食べもの

サンショウなどのえだ

アゲハチョウのようちゆうの食べものは、サンショウなどのえだです。やわらかいえだのほうが、よく食べます。えだごと切って、水をためた小さなびんなどにさしておきます。たくさん食べて、たくさんふんをするので、毎日えだをとりかえたり、そうじをしたりしましょう。さなぎになったら、2週間くらいでせいちゆうになります。



◀サンショウの木についたアゲハチョウのようちゆう。イヌザンショウという木のはっぱも、よく食べる。



◀ユズの木についたアゲハのようちゆう。ユズのはっぱはつけねがくびれているのがとくちょう。



▶レモンやユズの木は、ホームセンターなどでも売っているが、のうやくなど、びょうきをふせぐくすりがかかっていることが多い。ようちゆうは、のうやくのついたはっぱを食べるとしんでしまうので、数週間、雨にあててのうやくがうすれたら、えさにしよう。

すみか

しいくばこ

しいくばこをたてにしてつかいます。下に新聞紙などをしいておくと、そうじがしやすいです。ようちゆうがきれいになったら、かれたえだを5本から6本、入れておくと、そこでさなぎになるかもしれません。えだはわりばしくらいの太さで、はこのそこからてんじょうにとどく長さになります。

おきばしょ

明るいところで、風とおしがいばしょにおきます。日光が一日じゅう当たるばしょや、おんどが高くなるばしょ、じめじめしたばしょには、おかないようにします。秋のおわりにさなぎになったものは、春にせいちゆうになります。いちどさむくならないとせいちゆうにならないので、ベランダなど、外の日かげに出しておきましょう。

たまご

たまごのついたえだを、プラスチックの入れものなどに入れて、かんさつします。ようちゆうがうまれたら、大きなしいくばこへうつします。



たまごのついたえだ

えだを切ったところは、水でしめらせたティッシュなどをまいて、アルミはくでくんでおきます。

さわってみよう!

チョウのもちかた

チョウのはねには、りんぷんというこながたくさんついています。ゆびではねをしっかりとつかないと、りんぷんがとれてしまうので、ちゅういしましょう。



ひとさしゆびと中ゆびで、はねをはさむと、りんぷんがとれにくい。



はねのつけね(むねのあたり)を、ゆびでそっとつかむのもよい。

写真 新開 孝 (しんかい・たかし)

1958年、愛媛県生まれ。高校生のころからチョウの生活に魅せられる。愛媛大学農学部で昆虫学を専攻。卒業後上京し、教育映画の助手などの仕事を経て、フリーの昆虫写真家として独立。昆虫の多様で不思議な生態を掘り下げ、独自の視点から撮影し、現在に至る。宮崎県三股町在住。著書に『ヤママユガ観察事典』『カメムシ観察事典』(偕成社)、『虫のしわざ観察ガイド―野山で見つかる食痕・産卵痕・巣』(文一総合出版)、『虫の飼いかた・さがしかた』『虫たちのふしぎ』(福音館書店)、『はじめて見たよ!セミのなぞ』(少年写真新聞社)、『うまれたよ!カブトムシ』(岩崎書店)、『いのちのカプセル まゆ』『イモムシ』『わたしはカメムシ』『むしこぶ みつけた』『きのこレストラン』(ポプラ社)など多数。「新開孝の昆虫手帖」(http://kamakirimodoki.sblo.jp)をほぼ毎日更新中。

文・構成 池田菜津美 (いけだ・なつみ)

1984年埼玉県生まれ。生き物好きのフリーエディター。動植物の図鑑や、児童書の編集に多くたずさわる。著書に『みんなわくわく水族館』『飼育員さんおしえて! イルカのひみつ』(新日本出版社)、『タコとイカはどうちがう?』(ポプラ社)など。

装丁・本文デザイン●椎名麻美
イラスト●北原明日香



写真●新開 孝
文・構成●池田 菜津美
発行者●千葉 均
編集●原田 哲郎
発行所●株式会社ポプラ社
〒102-8519 東京都千代田区麹町4-2-6
ホームページ www.poplar.co.jp (ポプラ社)
kodomottolab.poplar.co.jp (こどもっとラボ)

印刷・製本●凸版印刷株式会社



Printed in Japan ISBN978-4-591-17635-1 / N.D.C. 486 / 41P / 29cm
Photographs Copyright ©Takashi Shinkai 2023 Text Copyright ©Natsumi Ikeda 2023

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。
電話(0120-666-553)または、ホームページ(www.poplar.co.jp)のお問い合わせ一覧よりご連絡ください。

※電話の受付時間は、月～金曜日10時～17時です(祝日・休日は除く)。
本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用であっても著作権法上認められておりません。

P7226007

しゃしん絵本

小さな生きものの

春 夏 秋 冬

全12巻

大迫力の
大判絵本!

ミニずかん
(巻末資料)
つき!

第1期

1 カブトムシ

写真 藤丸篤夫 文・構成 池田菜津美

3 カマキリ

写真 新開孝 文・構成 池田菜津美

5 トンボ

写真 中瀬潤 文・構成 池田菜津美

2 テントウムシ

写真 新開孝 文・構成 池田菜津美

4 アリ

写真 藤丸篤夫 文・構成 池田菜津美

6 クモ

写真 藤丸篤夫 文・構成 池田菜津美

第2期

7 チョウ

写真 新開孝 文・構成 池田菜津美

9 ハチ

写真 藤丸篤夫 文・構成 池田菜津美

11 カ

写真 中瀬潤 文・構成 池田菜津美

8 バッタ

写真 青木由親 文・構成 池田菜津美

10 ゾウムシ

写真 藤丸篤夫 文・構成 池田菜津美

12 ダンゴムシ

写真 新開孝 文・構成 池田菜津美

ポプラ社はチャイルドラインを応援しています

18さいまでの子どもがかけるでんわ
チャイルドライン
0120-99-7777
毎日午後4時～午後9時 ※12/29-1/3はお休み
チャット相談はこちら
電話代はかかりません
迷惑(スマホ)OK

小学校低学年～中学年向き

N.D.C.486 各41ページ B4変型判 オールカラー
図書館用特別堅牢製本図書